

## 平成20年度 中山間地域等直接支払交付金の概要について

国は、平成12年度に国土の保全・水源のかん養・優良な景観形成など農業・農村が持つ多面的機能を保持するために「中山間地域等直接支払制度」を創設しました。

浜中町は、過疎法指定地域で積算気温が著しく低く、草地比率が高いこと、また、今後も耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する中山間地域等直接支払交付金事業の実施方針を定め「協定締結集落」に交付金を交付しました。

この交付金で農業生産活動や多面的機能を増進する活動を実施しており、浜中町はその美しい自然と環境を考慮した、景観・環境対策をメインに実施しています。

活動内容としては、牛乳の乳質改善のための各農家へのプレートクーラーの設置、植樹等の森林整備、景観を考慮した不要建物の撤去、河川等の水質保全を考慮した各農家への合併浄化槽の設置などを実施してきました。

こうした景観対策や「緑の回廊」プロジェクトなどは農業新聞等で多く取り上げられて、都市生活者を含めた多くの人々から理解や共感を得られています。

この中山間地域等直接支払制度は平成17年度から新たに5年間の継続事業となりました。

19年度までの取組としては、牛乳集荷路線や集落公園、共同パドックの整備、草地更新用機器の購入や景観木の購入、先進地視察研修などを含む今までの取組に加え、衛生的な集乳の為の牛舎処理室周辺農道の舗装整備、生乳生菌検査機器の導入、酪農排水調査による牛舎処理室排水三槽越流式沈殿槽の設置などを行ってきました。また、森づくり学習会に参加することにより学校やNPO、他集落などと連携して河川周辺の植樹などを行い、交流を図ることもできました。

浜中町の酪農業と自然環境をよりよく発展させるために、平成21年度まで事業を実施していきます。

### 平成20年度集落協定内容

集落名	浜中・別寒辺牛集落	浜中未来集落	浜中なんもだ集落	根室集落
代表者	委員長 石橋榮紀	代表者 我妻新一	代表者 中村好秋	代表者 中村孝也
参加者	農業者 202人 生産組織 1 農業生産法人 3	6人	2人	10人
農用地面積	12,613ha	414ha	87ha	211ha
交付金額	189,193千円	6,206千円	1,304千円	3,170千円
共同取組	151,580千円	3,166千円	1,304千円	1,585千円
個人配分	90,000千円	3,041千円	0千円	1,585千円
主な共同取組活動の内容	不要建設物撤去 先進地研修視察 牛乳処理室周辺整備 森林環境保全 廃棄物の適正処理 害鳥獣被害防止対策	共同パドックの整備 先進地研修視察 森づくり学習会参加 認定農業者の育成	共同パドックの整備 集落内公園整備 農道等環境整備 森づくり学習会参加 認定農業者の育成	鳥獣害防止対策 生活排水処理浄化槽 廃プラ処理等

共同取組活動の内容は平成19年度繰越金額を含む。